



医療ニーズ対応・ホスピス住宅、日本ホスピスホールディングス
「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」 関西初進出

日本ホスピスホールディングス株式会社
ファミリー・ホスピス株式会社

日本ホスピスホールディングス株式会社（本社 東京都千代田区）の子会社であるファミリー・ホスピス株式会社は、同社が運営するホスピス住宅として、新たに「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」を2021年5月に開設しました。

がん末期、ALSなどの神経難病の方を最期まで看取れる「ホスピス住宅」は、これからの超高齢多死社会の課題解決策の一つであり、「ホスピス住宅」が、地域の看取り拠点になることを目指します。

また、「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」では、京都産木材の積極活用、ZEB Readyの達成/実現、災害対策の充実など、SDGsを意識した、これからの高齢者住宅の実現を目指しました。

1. 物件概要

施設名	ファミリー・ホスピス京都北山ハウス
所在地	京都府京都市北区上賀茂石計町 74-1
交通	京都市営地下鉄 北山駅 徒歩6分
開設日	2021年5月8日
運営会社	ファミリー・ホスピス株式会社



2. 社会的背景と、ファミリー・ホスピスの取組み

自立から介護まで、高齢者の方へ住まいを提供する有料老人ホームなどの高齢者住宅は、介護対応には強みがありますが、医療対応に限界があります。日本全体として、多死社会を迎え、年間死亡者は160万人を超える時代となり、がんによる死亡原因が30%を超えて増え続けています。そのような中で、がん末期の方が、最期まで暮らせる体制を構築していくことは、高齢者住宅業界の大きな課題となっています。

病院は、治す場所としての役割分担が明確になり、治療を終えられた方を最期まで看取することは難しくなっています。しかしながら、がん末期など、医療の支えが必要な人は、前述のように高齢者住宅は引き受けられないことが多く、一方で、自宅は単身者・老々世帯が増えて、支えきれなくなる場面が増えていきます。

そのような環境を解消するため、病院から退院した方を、地域の在宅医と専門性の高い看護師で、最期まで暮らしの中で支える「ホスピス住宅」が、世の中に必要になってきています。暮らしの中で寄り添いながら、地域で看取ることが、ファミリー・ホスピスの目指すべき住まいです。

当社グループでは、この「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」が19棟目の「ホスピス住宅」となります。

3. ファミリー・ホスピス北山ハウスの特徴

【地域で看取る : 渡辺西賀茂診療所を中心とする地域医療とともに】

医療・介護のネットワークがあっても、最期まで自宅で過ごすことができない方が増加しています。また、がん末期や難病をはじめとする医療依存度の高い方が、地域で過ごし続けたくても病院に入院するという選択をせざるをえない現実があります。

今回、「おせっかい」の理念を大切に、24時間365日体制で地域の皆様の生活を支えたいと、在宅医療と介護を提供してきた渡辺西賀茂診療所と連携し、また地域の他の事業所も含めた地域医療ネットワークに当ホスピス住宅が加わり、最期まで自分らしく生きる選択肢を増やすことができると考えています。

地域を支えるみなさんとともに、この地域の方が、暮らしの中で最期まで暮らすことに寄り添います。

【SDGs の取組み① : 木造建築】

木造建築の普及は SDGs の 10 項目と一致し、森を守ること、地域経済が成長すること、気候変動への対策などで、SDGs の達成に貢献します。

木造建築は、鉄骨や鉄筋コンクリートに比べて軽量なため、地盤への負担や文化財への影響も少なくすみます。

加えて、木材は京都産を使い、地産地消を実現し、快適な暮らしと新しい雇用を与え街と人を育てます。豊かに成長した日本の樹木を活用することは、治水改善や土砂災害防止にも貢献します。CO₂ を吸収し貯蔵させる森林を育てることで地球温暖化を防ぎます。



【SDGs の取組み② : ZEB※1、災害体制】

ZEB 化事業について

介護サービス事業は、適切なサービスを 24 時間行うため、一般的にエネルギー使用量が多くなる傾向にあります。そのため、当社では 2021 年 5 月に開設した「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」において、高性能建材や最新技術を尽くした省エネ設備の数々を導入し、ZEB Ready の達成/実現を目指し、BELS 認証※2 において、省エネ率 52% の「ZEB Ready」の評価をいただきました。

災害時の体制について

「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス」には、医療機器を使用している方が常時ご入居されているため、プロパンガスのバルクによる自家発電装置を設置し、一般コンセント、照明に対応し、人工呼吸器などの医療機器が停電時も停止しないように備えております。

プロパンガスは、災害時に一番復旧が早い（地域インフラの復旧を待たなくてもよい）ことから、厨房・給湯機には日常からプロパンガスを利用します。また、プロパンガスと合わせて、ソーラー、蓄電池でも動力（EV・空調）を確保します。

※1 ZEB とは

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (Net Zero Energy Building) の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーの収支を正味（ネット）ゼロにすることを旨とした建築物のことで、達成状況や建物区分に応じて、「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」「ZEB Oriented」の 4 段階の ZEB シリーズが定義されています。

※2 BELS 認証とは

「建築物省エネルギー性能表示制度」のことで、新築・既存の建築物において、省エネ性能を第三者評価機関が評価し認定する制度です。

以 上

(本リリースに関するお問い合わせ)

日本ホスピスホールディングス株式会社

担当：三重野 / 03-6368-4154